



凡 例

1. 本書の内容

本書は食文化および食に関連の深い産業・科学・農水畜産業に関する国内の72賞の受賞情報を収録した事典である。

2. 収録範囲

- 1) 食文化に関する賞を2021年9月末現在で収録した。
- 2) 特定の時期に食文化関連の部門が設けられていたり、賞の一部に食文化関連部門が存在する場合や、一部の受賞者のみが食文化に関連する場合は、該当する年・部門・受賞者を収録した。

3. 賞名見出し

- 1) 賞名の表記は原則正式名称を採用した。
- 2) 改称や他の呼称がある場合は、目次に個別の賞名見出しを立て、参照を付した。

4. 賞の分類と賞名見出しの排列

賞を「食文化」「食品産業」「食と科学」「農水畜産」の4つの大分類に区分し、それぞれの賞名の五十音順に排列した。その際、濁音・半濁音は清音とみなし、ヂ→ジ、ヅ→ズとした。促音・拗音は直音とみなし、長音（音引き）は無視した。

5. 記載内容

1) 概要

賞の概要として、賞の由来・趣旨／主催者／選考委員／選考方法／選考基準／締切・発表／賞・賞金／公式ホームページURLを記載した。記述内容は原則として最新回のものによった。

2) 受賞記録

歴代受賞記録を受賞年(回)ごとにまとめ、部門・席次／受賞者名(受賞時の所属、肩書き等)／受賞作品または受賞理由の順に記載した。

主催者からの回答が得られず、他の方法によっても調査しきれなかった場合は“*”印を付した。

6. 受賞者名索引

- 1) 受賞者名から本文での記載頁を引けるようにした。
- 2) 排列は、姓の読みの五十音順、同一姓のもとでは名の読みの五十音順とした。姓名区切りのない人物は全体を姓とみなして排列した。アルファベットで始まるものはABC順とし、五十音の後においた。なお、濁音・半濁音は清音とみなし、ヂ→ジ、ヅ→ズとした。促音・拗音は直音とみなし、長音（音引き）は無視した。

目次

食文化

001	「あなたの『おいしい記憶』をおしえてください。」コンテスト	3
	茶道文化学術賞 →010 茶道文化学術賞	
	茶道文化賞 →011 茶道文化賞	
002	佐野藤三郎記念 食の新潟国際賞	7
003	食育活動表彰	9
004	食かけるプライズ	13
005	食生活ジャーナリスト大賞	15
006	食生活文化賞	16
007	食とコミュニケーションエッセイコンテスト	40
008	食農教育紙芝居コンクール	41
009	全国学校給食甲子園	43
	淡々斎茶道文化賞 →011 茶道文化賞	
010	茶道文化学術賞	48
011	茶道文化賞	51
012	辻静雄食文化賞	53
013	日本おいしい小説大賞	56
014	日本食海外普及功労者表彰	56
	日本タウン誌・フリーペーパー大賞 →015 日本地域情報コンテンツ大賞 〔グルメ&クーポン部門〕	
015	日本地域情報コンテンツ大賞〔グルメ&クーポン部門〕	58
016	農林水産省料理人顕彰制度「料理マスターズ」	60
017	B-1グランプリ	62
	毎日国際交流賞 →018 毎日地球未来賞	
018	毎日地球未来賞	66
019	料理レシピ本大賞 in Japan	68
020	和食文化京都大賞・京都和食文化賞	71

食品産業

	外食産業貢献賞賞 →021 業務用加工食品ヒット賞/外食産業貢献賞	
021	業務用加工食品ヒット賞/外食産業貢献賞	75
022	食品安全安心・環境貢献賞	83
023	食品産業功労賞	87
024	食品産業もったいない大賞	100
025	食品産業優良企業等表彰	104
026	食品ヒット大賞	142
027	食品ロス削減推進大賞	158
028	新技術・食品開発賞	159
029	地域食品産業貢献賞	162
030	地産地消給食等メニューコンテスト	164
031	地産地消優良活動表彰	167
	日食・環境資源協力賞 →022 食品安全安心・環境貢献賞	
032	日食優秀食品機械・資材・資材賞	171
033	日本サービス大賞〔農林水産大臣賞〕	178
	ニュー・フードサービス推進優良事業者表彰 →034 優良外食産業表彰	
	バイオ食品開発賞 →028 新技術・食品開発賞	
034	優良外食産業表彰	179
	優良フードサービス事業者等表彰 →034 優良外食産業表彰	
035	輸出に取り組む優良事業者表彰	190
036	6次産業化アワード(6次産業化優良事例表彰)	192

食と科学

037	安藤百福賞	195
	飯島食品科学賞 →038 飯島藤十郎賞	
038	飯島藤十郎賞	200
	石川弥八郎賞 →047 日本醸造協会石川弥八郎賞	
	伊藤保平賞 →048 日本醸造協会伊藤保平賞	
	江田賞 →040 生物工学奨励賞(江田賞)	
	佐伯賞 →043 日本栄養・食糧学会賞	

039	杉田玄白賞	204
040	生物工学奨励賞(江田賞)	206
	武田賞 →043 日本栄養・食糧学会賞	
041	遠山椿吉記念 食と環境の科学賞	208
042	日本栄養改善学会賞、功労賞、奨励賞	210
043	日本栄養・食糧学会賞	223
044	日本家政学会賞	235
045	日本醸造学会功績賞	237
046	日本醸造学会奨励賞	238
047	日本醸造協会石川弥八郎賞	239
048	日本醸造協会伊藤保平賞	241
049	日本醸造協会技術賞	243
050	日本食品衛生学会賞	247
051	日本食品科学工学会賞	254
052	日本食品工学会賞	265
	日本食品工業学会賞 →051 日本食品科学工学会賞	
	日本食品低温保蔵学会賞 →053 日本食品保蔵科学学会賞	
053	日本食品保蔵科学学会賞	272
	日本生物工学会江田賞 →040 生物工学奨励賞(江田賞)	
054	日本調理科学学会賞	278
	日本醸酵工学会江田賞 →040 生物工学奨励賞(江田賞)	
055	三島海雲学術賞〔自然科学部門〕	282

農水畜産

	磯賞 →066 日本熱帯農業学会賞	
056	伊藤記念財団賞	285
057	園芸学会賞	286
	菊池賞 →057 園芸学会賞	
058	食農資源経済学会賞	300
	田内賞 →063 日本水産学会賞	
	畜産学研究奨励賞 →065 日本畜産学会奨励賞	
059	日本育種学会賞	302
060	日本家禽学会賞	310
061	日本作物学会賞	315
062	日本植物工場学会賞	319

063	日本水産学会賞	322
064	日本畜産学会賞	342
065	日本畜産学会奨励賞	346
066	日本熱帯農業学会賞	350
067	日本農業研究所賞	354
068	日本農業賞	357
	日本農芸化学会農芸化学技術賞 →072 農芸化学技術賞	
069	日本農作業学会学術賞	371
070	日本酪農科学学会賞	373
071	農業ジャーナリスト賞	376
072	農芸化学技術賞	379
	酪農科学賞 →070 日本酪農科学学会賞	
	受賞者名索引	385

日本の美意識を融合させ、高い技術力を用いて中国料理の新たな世界を切り開

ている。チーム組織を主導して緻密な料理を提供する姿は現代的料理店の一つのあり方を示している”

013 日本おいしい小説大賞

小説家にとって腕の見せ所と言われているのが食の描写であり、また、どんな小説を読みたいかについて、本を買って読む習慣のある主要層である30代～50代の女性にアンケートすると、「食にまつわる話」とこたえる比率が非常に高いことから、「食小説」には一定以上のニーズがあるとして、食の描写に秀でたフィクションの書き手の発掘を目的として創設。

【主催者】小学館

【選考委員】山本一力(作家)、柏井壽(作家)、小山薫堂(放送作家・脚本家)

【選考基準】〔対象〕古今東西の「食」をテーマとする、エンターテインメント小説。ミステリー、歴史・時代小説、SF、ファンタジーなどジャンルは問わない。自作未発表、日本語で書かれたものに限る。〔原稿〕400字詰め原稿用紙換算で400枚以内

【締切・発表】(第3回)令和3年3月31日締切、最終選考結果発表は令和3年8月20日

【賞・賞金】大賞：賞金300万円

【URL】<https://shosetsu-maru.com/pr/oishii-shosetsu/>

第1回(令1年)

◇日本おいしい小説大賞

古矢永 塔子 「七度洗えば、こいの味」(刊行時「七度笑えば、恋の味」)

◇最終候補作品

佐久 そるん 「水と蜜」

水月 あや 「ハッコイ・ウェーブ!」

深町 汐 「殻割る音」

第2回(令2年)

◇日本おいしい小説大賞

幸村 しゅう 「私のカレーを食べてください」

◇最終候補作品

秋田 柴子 「ころつけ亭へいらっしゃい」

藤ノ木 優 「まぎわのごはん」

村崎 なぎこ 「山とかき氷」

第3回(令3年)

◇日本おいしい小説大賞

村崎 なぎこ 「百年厨房」

◇最終候補作品

岩石 岩魚 「マツシロの山」

風 「羽釜の神様」

森園 ことり 「まずい飯が食べたくて」

014 日本食海外普及功労者表彰

日本産農林水産物・食品の輸出の一層の拡大に向けて、海外に在住し日本食・食文化または日本産農林水産物・食品の海外での紹介、普及等に多大に貢献してきた者に対し、農林水産大臣賞を授与する。

【主催者】農林水産省

【選考方法】推薦があった者の中から、選考委員会において選定

【締切・発表】農林水産物等輸出促進全国協議会の総会開催時に表彰

【URL】https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e_award/

第1回(平18年度)

シャーリー・ブーズ(ロンドンの料理学校「The Asian and Oriental School of Catering」講師)

フランキー・ビー・ウー(味珍味有限公司 主席)

倉岡 伸欣(ワコーインターナショナル(株)オーナー兼社長)

第2回(平19年度)

松久 信幸(レストラン「Matsuhisa」オーナー)

クリストファー・ドウソン(Clearspring Ltd. 代表取締役社長)

出倉 秀男(料理研究家(日本料理式包丁シドニー四条真流文芸師範))

金井 紀年(Mutual Trading Co., Inc(共同貿易)社長)

杵渕 嘉邦(日本食レストラン「風林火山」 「慶レストラン」オーナー)

第3回(平20年度)

雲田 康夫(Free Food, Inc. 会長・CEO)

小西 紀郎(日本食レストラン「TOSHIRO'S-MANDALAY」オーナー)

戴 徳豊(ホンコン フォーシーズ グループ 会長)

マークス・ハステンフルク(下堂園インターナショナル 代表取締役)

米田 邦夫(日本調理師連合会・米国支部支部長)

第4回(平21年度)

加藤 秀樹(DAISHO (Thailand) 代表取締役社長)

小宮山 巖(日本食ケータリング・日本料理コンサルタント「Iwao Sushi&Cuisine」経営)

当銘 由盛(日本食レストラン「Sushi Ran」オーナー)

野川 義夫(日本食レストラン「野川」等代表取締役・オーナー)

宮前 一(日本食レストラン「KAMAKURA」オーナー、調理師連合会・米国支部支部長)

第5回(平22年度)

石井 龍二(AFC Corporation 代表取締役) 岩崎 透(東山グループ 代表取締役社長、東山農場 社長、東山農産加工 社長)

周星模(日健日本食品有限公司 総裁、香港 レストランサービス管理協会名誉会長)

リチャード・ホスキン(食文化研究家)

武藤 慶子(日本食レストラン「Kei」オーナー)

第6回(平24年度)

大島 晃(Advisor & Honorary Executive Chief Japanese Restaurants)

大山 照雄(神戸屋食品工業(株) 代表取締役社長)

オデッド・カリフ(East & West Import & Marketing Ltd 代表取締役社長)

森本 正治(日本食レストラン「MORIMOTO」他 店舗オーナー)

山本 晴久(デンバー豆腐会社元社長)

第7回(平25年度)

安部 隆孝(AHT INTERNATIONAL LIMITED 取締役社長)

伊藤 文夫(Dream Team Dusseldorf GmbH 相談役)

陣山 禮子(日本食弁当・仕出し「陣屋」オーナー)

田中 伸二(ニュースタイルレストラン「TANAKA」オーナー)

ヨウスケ・ジェイ・オウ・ホンジョウ((株)伊藤園取締役 米州統括)

第8回(平26年度)

小池 信也(レストラン「藍染」, 「酒蔵阿咩」オーナー)

末次 庸介(レストラン「のんべえ大学」オーナー)

ダルシャン・ムニダーサ(日本食レストラン「日本ばし」オーナー)

松 秀二郎(MKK IMPORT 代表取締役)

吉武 理恵(日英ビジネスコンサルタント、日本酒プロモーターほか)

第9回(平27年度)

小林 金二(北京蔵善飲食有限公司 副総経

スにおける酵母のストレス耐性機構の解析と育種への応用に関する研究”

二川 健(徳島大学大学院歯歯学薬学研究所教授) “サルコペニアに有効な機能的蛋白質・ペプチド食材の開発”

◇飯島藤十郎食品技術賞

川崎 晋(農研機構食品研究部門 食品安全研究領域上級研究員) “食品製造現場に適応した簡易迅速微生物検査法の開発と実用化”

松本 光晴(協同乳業(株) 研究所主幹研究員) “腸内細菌叢のポリアミン産生を強化する新規機能的食品の開発”

039 杉田玄白賞

郷土の偉人・杉田玄白の功績に冠し、「医食同源」の理念に沿って食と医療あるいは健康増進に関する進歩的な研究や取組を表彰することを目的として、平成14年に創設された。

【主催者】 福井県小浜市

【選考委員】 同賞審査委員会

【選考方法】 公募

【選考基準】 〔対象〕(1)食と医療に関する進歩的な研究・取組を行い実績をあげている者。(2)食と健康増進に関する進歩的な研究・取組を行い実績をあげている者。(3)地域活動と食育に関する進歩的な取組・活動を行い実績をあげている者

【締切・発表】 (第20回)令和3年8月6日締切、10月下旬審査、12月11日表彰式

【賞・賞金】 杉田玄白賞：賞状と副賞(50万円)。杉田玄白賞奨励賞：賞状と副賞(10万円)

【URL】 <http://www1.city.obama.fukui.jp/>

第1回(平14年)

◇杉田玄白賞

黒田 留美子(宮崎市介護老人保健施設ひむか苑栄養管理室長) “高齢者ソフト食の開発”

第2回(平15年)

◇杉田玄白賞

家森 幸男(WHO循環器疾患予防国際共同研究センター長) “循環器系疾患は「栄養により遺伝子の支配を克服して病気の予防が可能であり、日本食が世界の健康に大きく貢献しうる」ことを証明した研究・取組み”

第3回(平16年)

◇杉田玄白賞

田辺 栄吉(青梅市観光協会会長(元青梅市長)) “蘭学史研究ならびに杉田玄白を始め多くの医人達の業績研究などの取組み”

第4回(平17年)

◇杉田玄白賞

郡 健二郎(名古屋市立大学大学院医学研究科教授) “尿路結石の発生機序を分子レベルで解明”

第5回(平18年)

◇杉田玄白賞

中尾 一和(京都大学大学院医学研究科教授) “抗肥満ホルモンであるレプチンに関する研究”

第6回(平19年)

◇杉田玄白賞

秦 榮子(新居浜市食生活改善推進協議会会長) “地域に根ざした食育活動”

◇杉田玄白賞 奨励賞

桑田 一夫(岐阜大学教授) “プリオン病等への感染症治療薬の開発研究”

第7回(平20年)

◇杉田玄白賞

川島 真人(医療法人玄真堂川島整形外科病院理事) “杉田玄白らの医学史研究や「医食同源」の思想に関する広報活動等”

◇杉田玄白賞 奨励賞

依藤 亨(京都大学医学部附属病院小児科講師) “我が国の乳幼児ビタミンD欠乏症と望ましい食・生活習慣への提案”

第8回(平21年)

◇杉田玄白賞

赤羽 義章(福井県立大学理事・副学長) “マサバへしこの食味の醸成メカニズムと健康機能的の研究”

第9回(平22年)

◇杉田玄白賞

山本 隆(畿央大学健康科学部健康栄養学科教授) “味覚と食行動の神経科学的研究による食嗜好性、食育への啓発活動”

第10回(平23年)

◇杉田玄白賞

平尾 彰子(早稲田大学先進理工学研究科博士課程2年) “健康増進に関与する食と体内時計に関する研究”

第11回(平24年)

◇杉田玄白賞 奨励賞

村田 昌一(独立行政法人水産総合研究センター中央水産研究所 水産物応用開発研究センター長) “魚類・海藻類の機能的な解明と日本人への健康効能に関する研究”

大谷 りら(東京大学総括プロジェクト機構 総括寄付講座「食と生命」特任研究員) “妊婦の栄養環境と胎児の生活習慣病発症に関する研究”

第12回(平25年)

◇杉田玄白賞

中里 雅光(宮崎大学医学部内科学講座神経呼吸内分泌代謝学分野教授) “食欲を亢進するペプチドの一種であるグレリンについて、その生理作用および治療薬研究に成功”

◇杉田玄白賞 奨励賞

近藤 春美(防衛医科大学校助教) “長年不明だったコーヒーの抗動脈硬化作用を明らかにした”

第13回(平26年)

◇杉田玄白賞

古家 大祐(金沢医科大学糖尿病・内分泌内

科教授) “カロリー制限が、生命維持、寿命の延長に有効であること一端を明らかにした”

◇杉田玄白賞 奨励賞

都築 毅(東北大学大学院准教授) “1970～1980年代の伝統的日本食が最も健康長寿に効果的であることを明らかにした”

第14回(平27年)

◇杉田玄白賞

山田 律子(北海道医療大学看護福祉学部教授) “認知症高齢者の食支援に関する研究・実践活動を22年間継続”

第15回(平28年)

◇杉田玄白賞

木村 郁夫(東京農工大学テニュアトラック 特任准教授) “短鎖脂肪酸やオメガ脂肪酸による抗肥満・代謝機能改善に至るメカニズムを世界で最初に明らかにした”

◇杉田玄白賞 奨励賞

森 真理(武庫川女子大学国際健康開発研究所講師) “科学的根拠に基づく体験食育講座や食育ボランティアの振興のための活動”

第16回(平29年)

◇杉田玄白賞

小川 佳宏(九州大学大学院医学研究院、東京医科歯科大学大学院教授) “生活習慣病の分子機構の解明と新しい治療戦略の開発に関する分子医学的研究を推進”

第17回(平30年)

◇杉田玄白賞

山田 正仁(金沢大学大学院脳老化・神経病態学(神経内科学)教授) “緑茶等に含まれるポリフェノールの抗アルツハイマー病作用を解明するなど、「食による認知症予防」を推進”

◇杉田玄白賞 奨励賞

平田 昌弘(帯広畜産大学教授) “地域に適應した世界の乳文化を調査研究し、日本型乳文化の可能性について、広く周知した”

第18回(令1年)

◇杉田玄白賞 奨励賞

田部 絢子(立命館大学産業社会学部准教授) “発達障害当事者と保護者が抱える食の困難の実態・支援ニーズ、学校における支援の実態等を実証的に解明”

- (平30年)
◇学術賞
内藤 重之, 坂井 教郎 「そばによる地域創生—そばの生産・流通と6次産業化・農工商連携」〔筑波書房〕
- ◇学会誌賞
深川 欣彦, 高橋 昂也, 前田 幸嗣 「牛肉新マルキン事業のTPP対策効果—予算制約を考慮したシミュレーション分析」
- (令1年)
◇学会誌賞
井上 憲一 「集落営農放牧の組織化過程と運営体制に関する考察」
- (令2年)
◇学術賞
板橋 衛 「果樹産地の再編と農協」〔筑波書房〕
- ◇学会誌賞
出花 幸之介, 内藤 重之, 杉村 泰彦 「サトウキビ大規模経営における夏植え株出しトラッシュマルチ体系の展開」
- (令3年)
◇学術賞
吉本 諭 「フードシステムの産業連関分析—北海道の食産業を考える」〔農林統計出版〕
- ◇学会誌賞
坂井 教郎, 田代 正一, 内藤 重之, 伊村 達児 「遠隔暖地における野菜農家の出荷行動—鹿児島県長島町のばれいしょ農家を対象に」

059 日本育種学会賞

育種学に関する研究で、業績顕著なものに贈られる。昭和28年に創設された。

【主催者】日本育種学会

【選考方法】会員の推薦に基づき、選考委員会で選考された者の中から代議員会の議を経て会長が決定

【選考基準】〔資格〕学会賞：同会会員または会員を主体とするグループ。奨励賞：選考年の4月1日現在40歳未満の同会会員（個人）。〔対象〕学会賞：育種学に関する学術的あるいは技術的業績。奨励賞：次のいずれかに該当するもの。(1) Breeding Science または育種学研究に発表された論文。(2) Breeding Science または育種学研究以外の出版物に印刷発表された論文または著書のうちで、主要内容が日本育種学会講演会で口頭発表されている業績

【賞・賞金】学会賞：学術的業績および技術的業績がそれぞれ少なくとも1件含まれる3件以内。奨励賞：原則として毎年3件以内。賞状と副賞

【URL】<http://www.nacos.com/jsb/>

- (昭28年)
長尾 正人 “稲の交雑に関する研究”
中里 延 “蚕品種目122号及支122号の育成”
- (昭29年)
高橋 隆平 “本邦大麦品種の分類と地理的分布”
福島 信知 “水稻農林18号の育成”
- (昭30年)
赤藤 克己 “量的遺伝の研究”
- 伊藤 庄次郎 “不和合性利用による育種体系の樹立”
- (昭31年)
永友 雄 “家蚕における化性の遺伝学的研究”
繁村 親, 北村 英一 “戻交雑法によるイモチ耐病品種の育成”
- (昭32年)
福島 栄二 “アブラナ属の大根との属間雑種の細胞遺伝学的研究”

- 杉山 多四郎 “桑の挿木利用交雑に関する研究”
- (昭33年)
山田 豊一 “競合による形質偏倚と集団分布の変化に関する実験的並びに数理的研究”
- (昭34年)
田口 啓作 “馬鈴薯品種の交雑育種に関する研究”
缶桃育種研究グループ(代表・梶浦実) “缶桃の育種”
- (昭35年)
日浦 運治 “オオムギのウドンコ病抵抗性に関する研究”
氏原 光二 “稲熱病抵抗性品種の育成”
- (昭36年)
足立 昇造 “ススキ属植物の飼料作物化に関する育種学的基礎研究”
石川 正示 “ダイズシスト線虫抵抗性品種の育成”
高杉 喜一 “F1ならびに倍数体利用による蔬菜類の育種”
- (昭37年)
高橋 万右衛門 “稲の遺伝分析に関する研究”
佐俣 淑彦 “八重咲コスモスの育成”
- (昭38年)
西村 米八 “イネおよびオオムギの相互転座に関する研究”
岡田 正憲 “水稻新品種“ホウヨク”および“コクマサリ”の育成”
- (昭39年)
池田 長守 “ハッカ属植物の育種学的基礎研究”
石墨 慶一郎 “水稻品種“ホウネンワセ”および“コシヒカリ”の育成”
- (昭40年)
藤瀬 一馬 “甘藷品種の開花結実性と自家ならびに交配不和合性に関する研究”
鳥山 国土 “水稻耐冷性品種の育成に関する基礎研究”
- (昭41年)
角田 重三郎 “作物品種の多収性の研究”
細田 友雄 “飼料用合成ナブスの育成”
- (昭42年)
河合 武 “放射線によるイネの突然変異”
坂井 健吉 “コガネセンガン他、甘しょ品種の育成”
- (昭43年)
村上 寛一 “作物の選択受精に関する育種学的研究”
末永 喜三 “強稈、多収性水稻品種、ササニシキ、ミヨシ、トヨチカラ等の育成”
- (昭44年)
飯塚 宗夫 “ホウレンソウの性発現機構の解明”
宮本 健太郎 “暖地向馬鈴薯品種ウンゼン、クチバナ、シマバラ、チヂワの育成”
- (昭45年)
田中 正雄, 中田 和男, 新関 宏夫, 大野 清春 “薬培養による高等植物半数体育種法の開発”
農林省園芸試験場リングふじ育種グループ “リング品種ふじの育成”
- (昭46年)
清沢 茂久 “イネいもち病抵抗性に関する遺伝育種学的研究”
蓬原 雄三 “放射線による水稻新品種レイメイの育成”
- (昭47年)
高橋 成人 “稲の発芽性に関する生理遺伝学的研究”
平野 哲也, 内山田 博士, 進藤 幸悦 “良質強稈多収性品種ササミノリ、キヨニシキ、トヨニシキの育成”
- (昭48年)
望月 明 “コムギにおける異数体シリーズの育成とその遺伝学的研究”
伊藤 博 “種子の長期貯蔵法の利用・開発による新育種体系の研究”
- (昭49年)
百足 幸一郎 “小麦の世代促進に関する基礎研究”
- (昭50年)
水稻品種日本晴育種グループ “水稻品種日本晴の育成”
- (昭51年)
渡辺 好郎 “イネ属植物における人為倍数体の細胞遺伝学的研究”
目黒 友喜 “成城17号ほか醸造用大麦品種

【あ】

- あいあいファーム170,193
 相川 京子 4
 相澤 徹91
 相沢 雄一郎 376
 會津きり屋 183
 会津天竺醸造 127
 アイスライン 135
 會田 勝美327,338
 會田 久仁子 282
 相田 貞子 214
 愛知渥美町農協 渥美周年
 菊出荷連合 361
 愛知渥美農協 フロンティ
 アトマト出荷連合 360
 愛知兄弟社 366
 愛知県菓子工業組合 110
 愛知県漬物協会 115
 愛知県豆腐商工業協同組
 合 132
 愛知県農業総合試験場畜産
 研究部 家きんグループ .. 314
 愛知県パン協同組合 106
 愛知県味噌溜醬油工業協同
 組合 109
 愛知東農業協同組合 設楽
 トマト部会 363
 愛知東農業協同組合 トマ
 ト部会 370
 愛知東農業協同組合 和牛
 部会 368
 あいとう直売館 170
 會退 友美 221
 粟飯原 景昭 250
 粟飯原 和子 212
 相原 正俊 119
 相原 由美子58
 アイビス 123
 相見 靈三 316
 アイル 177
 アイン食品 128
 青井 良平 263
 青江 誠一郎220,375
 青江 弘 324
 青木 明義35
 青木 一郎 338
 青木 勝雄 126
 青木 喜平89
 青木 定治61
 青木 佐太郎91
 青木 智 317
 青木 新平18
 青木 清司25
 青木 宙328,336
 青木 孝良 374
 青木 直大 319
 青木 宣明 294
 青木 初夫 381
 青樹 久恵 213
 青木 久男108,117
 青木 秀夫 339
 青木 宏史 293
 青木 昌博96
 青木 實 128
 青木 保外志99
 青木 弥生 216
 青木 美一 24
 青倉商店 166
 青減味噌 127
 青砥 弘道 196
 青根 弘 25
 青野 育夫 21
 青野 鑑次郎 20
 青葉 幸二 291
 青葉 高 290
 青旗缶詰105,114
 青森おでんの会63
 青森罐詰 109
 青森県豆腐油揚商工組合 .. 105
 青森県農業試験場藤坂支場
 水稲品種アキヒカリ育成
 グループ 304
 青森県農村工業農業協同組
 合連合会115,191
 青森県立名久井農業高校環
 境研究班68
 青森県立名久井農業高校
 TEAM FLORA
 PHOTONICS67
 青森県立百石高等学校 食
 物調理科 167
 青森県りんご試験場陸奥つ
 がるなど育種グループ .. 304
 青森県りんごジュース 122
 青森市小学校給食センター ..46
 青森市食生活改善推進員会 ..12
 青森市立油川小学校44
 青森トレーディング 191
 青森りんご試りんご育種グ
 ループ 290
 青森ワシントンホテル・青
 森地域振興 184
 青柳 117
 青柳 喜平太 123
 青柳 吉紀 273
 青柳 義幸 36
 青山 稔 126
 青山 頼孝 230
 阿賀 創 383
 赤井 克也 5
 赤井 広子 299
 赤石 記子 281
 赤浦 和之 275
 赤尾 健 239
 赤雁の里 169
 赤木 榮 89
 赤木 政久 36
 赤城漬物工業 111
 赤城乳業 .. 85, 129, 152, 156
 赤城深山ファーム 194
 明石 克彦 32
 赤地 重光 381
 明石 貴裕 247
 あかし玉子焼ひろめ隊 ...64,65
 赤塚 保95
 吾妻 行雄 338
 あかね書房 70
 赤野 裕文 382
 赤羽 源一 89
 赤羽 昭治 28
 赤羽 正之214,219
 赤羽 義章 205
 赤藤 克己 302
 赤星 良一 382
 赤堀 千恵美 30
 赤堀 摩弥 222
 赤松 友成 339
 赤松 史一 247
 赤松 利忠 220,222
 赤見 雅宣 35
 赤門 189
 赤山 敦夫 382
 秋沢 叁八 116
 アキタ 160
 秋田 修 242
 秋田 柴子56

食文化の賞事典

2021年12月25日 第1刷発行

発行者／山下浩

編集・発行／日外アソシエーツ株式会社

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 鈴中ビル大森アネックス

電話 (03)3763-5241 (代表) FAX(03)3764-0845

URL <https://www.nichigai.co.jp/>

電算漢字処理／日外アソシエーツ株式会社

印刷・製本／シナノ印刷株式会社

© Nichigai Associates, Inc. 2021

不許複製・禁無断転載

〈落丁・乱丁本はお取り替えいたします〉

〈中性紙三菱クレームエレガ使用〉

ISBN978-4-8169-2900-7

Printed in Japan, 2021

本書はデジタルデータをご利用いただくことができます。詳細はお問い合わせください。